

〔参照番組・記事・論説一覧〕

(注1) 「過剰警備」の映像記録

- * 「特集 広がる異様な光景 今、辺野古で何が・・・」(『琉球放送』2014年8月19日)
- * 「海保、説明に矛盾 馬乗り写真『女性かわした』」(『琉球新報』2015年1月23日。4枚の写真を掲載)
- * 「緊迫する辺野古・抗議する人々にけが人多発」(『琉球朝日放送』2015年1月28日、ニュースQプラス)
- * 「抗議船、海保官乗り込み転覆寸前 辺野古」(『琉球新報』2015年2月11日)
- * 「米軍に異例の拘束 辺野古“反対派”2人逮捕」(『報道ステーション』2015年2月23日)
- * 「緊迫の辺野古 異例の“拘束”その深層は」(『報道特集』2015年2月28日)
- * 「報道特集 沖縄・辺野古で何が！・・・」(『報道特集』2015年4月4日、29分10秒～29分55秒)

(注2) 「過剰警備」の実態を伝えた報道番組・記事と論説

- * 「辺野古沖 にらみ合い 海保・反対派、距離10メートル」(『朝日新聞』2014年8月14日、夕刊)
- * 「『いつまで沖縄犠牲に』国の強硬姿勢に地元反発」(『毎日新聞』2014年8月15日)
- * 「辺野古 抗議中、市民けが 海保が取り押さえ」(『琉球新報』2014年8月23日)
- * 「県警が辺野古取材妨害 記者、映画監督を排除」(『琉球新報』2014年11月21日)
- * 「社説 辺野古強硬警備 誰から誰を守るのか」(『琉球新報』2015年1月20日)
- * 「辺野古海上で抗議の女性 告訴状提出」(『琉球朝日放送』ニュースQプラス、2015年2月4日)
- * 「社説 辺野古沖調査 県民への乱暴許せない」(『東京新聞』2015年2月12日)
- * 「辺野古 荒れる海 海保 カヌー 次々と強制排除」(『朝日新聞』2015年2月19日)
- * 「米軍に異例の拘束 辺野古“反対派”2人逮捕」(『報道ステーション』2015年2月23日)
- * 「米軍、反対派2人拘束 『辺野古』2800人集会前」(『東京新聞』2015年2月23日)
- * 「『過剰警備』疑問の声 米軍、運動に圧力か」(『毎日新聞』2015年2月25日)
- * 「辺野古の海保警備 激しさ増す 海上抗議で初の救急搬送」(『琉球新報』2015年3月5日)
- * 「海保は市民の敵？ 辺野古で反対派『弾圧』」(『東京新聞』2015年3月8日)
- * 「『沖縄の民意無視だ』辺野古調査再開 反対派、排除される」(『朝日新聞』2015年3月13日)

(注3) 翁長知事の面会要望に対する政府の対応を伝えた報道番組・記事と論説

- * 「菅氏『年内は会わない』 翁長知事上京」(『琉球新報』2014年12月26日)
- * 「首相ら 沖縄知事と面会せず 移設反対、冷たい仕打ち」(『東京新聞』2014年12月27日)
- * 「沖縄予算 削減を検討 政権 知事の『辺野古反対』牽制」(『朝日新聞』2014年12月27日)
- * 「社説 〔面談申し入れ不発〕政府は沖縄の声を聞け」(『沖縄タイムス』2014年12月27日)
- * 「社説 〔沖縄振興予算〕自治壊す恫喝許さない」(『沖縄タイムス』2014年12月28日)

- * 「社説 知事との会談拒否 県民との対話 閉ざすのか」(『琉球新報』2014年12月28日)
- * 「沖縄振興予算『減額へ』 翁長知事への“牽制”か」(『報道ステーション』2015年1月8日)
- * 「農相、知事面会を拒否 安倍政権『冷遇』際立つ」(『琉球新報』2015年1月8日)
- * 「沖縄知事を冷遇 自民党幹部『仲井真氏じゃないから』」(『朝日新聞』2015年1月9日)
- * 「沖縄振興予算削減へ」(『日本テレビ』ニュース、2015年1月9日)
- * 「社説 政権の沖縄対応 亀裂深める露骨な冷遇」(『毎日新聞』2015年1月12日)
- * 「官房長官『私は会わない』 翁長知事、内閣府など訪問」(『琉球新報』2015年1月14日)
- * 「特集ワイド:いかななものか これはもう沖縄いじめ」(『毎日新聞』2015年01月20日 東京夕刊)
- * 「山口沖縄相、知事上京『今聞いた』」(『沖縄タイムス』2015年2月7日)
- * 「これに関連して菅官房長官は翁長知事との面会について、『私たちは会うことは全くやぶさかではない。同時に沖縄県以外でも安倍総理大臣は半分以上の知事と会っていない。当然事前に申し入れがあって例えば予算委員会や本会議などとの調整が可能であれば考えていく』と述べました。」(2015年2月20日、ニュース7)
- * 「これに関連して、菅官房長官は『そんなに遠くない時期に翁長知事にお会いをさせていただいて、政権の考え方を何度となくお話をさせていただいて、ご理解をいただけるように取り組んでいきたい』と述べました。」(2015年3月3日、NHKニュース7)
- * 「沖縄知事の上京、官房長官『知らない』 面会また見送りへ」(『日本経済新聞』2015年3月11日)
- * 「社説 辺野古移設 作業を止めて対話せよ」(『朝日新聞』2015年3月14日)
- * 「社説 沖縄との対話 首相側から呼びかけ」(『毎日新聞』2015年3月14日)
- * 「社説 辺野古調査強行 民意となぜ向き合わぬ」(『東京新聞』2015年3月14日)

(注4) 3月13日の中谷防衛相発言に関する報道番組・記事

- * 「翁長知事に『会っても意味がない』中谷防衛大臣」(『テレビ朝日』ニュース、2015年3月13日)
- * 「翁長知事との面会 防衛相『意味がない』」(『沖縄タイムス』2015年3月13日)
- * 「中谷防衛相：知事対話拒む『会っても意味ない』／沖縄」(『毎日新聞』2015年3月14日)
- * 「社説 防衛相発言 対話拒むなら移設撤回を」(『琉球新報』2015年3月15日)

(注5) 「普天間基地の危険除去のための辺野古への移設」というNHKの報道フレームの実例

- * 「普天間基地の移設はアメリカ軍の抑止力の維持や、〔普天間〕飛行場の危険除去を考えたとき、唯一の解決策だ。」「環境保全に万全を期しながら、粛々と進めていきたい」(2015年3月12日、正午のニュース、同日のニュース7)
- * 「首相 今国会で安保法整備に意欲」(2015年3月17日、ニュース7)。この中で、安倍首相の次のような国会答弁が解説抜きで読み上げられた。
「住宅や学校に囲まれ、市街地の真ん中にある普天間基地の固定化は絶対に避けなければならない。……名護市辺野古への移設は、アメリカ軍の抑止力の維持と危険性の除去を合せて考えた時、唯一の解決策であり、この考え方に変わりはない。」

- * 「普天間巡る問題『工事を粛々と』『丁寧な進め方を』」（2015年3月24日、NHKニュース7）
- * 「普天間移設の行方 記者が聞く」（2015年3月25日、ニュースウオッチ9）
- * 「農水省 沖縄県知事の指示の効力一時停止を決定」（2015年3月30日、正午のニュース、ニュース7）。このニュースでは、次のような農水省の報道発表が政治部記者や識者の解説や論評は一切なしで、読み上げられただけだった。「農林水産省は知事の指示により作業を中止すれば普天間基地の移設が大幅に遅れ、基地周辺の住民にとって危険性や騒音の損害が続くこと、日米両国間の信頼関係に悪影響がおよび、外交・防衛上の損害が生じることなどを挙げており、こうした損害を避ける緊急性があるため、沖縄防衛局の申し立ては相当であるとしています。」

（注6） 辺野古基地の軍港機能に関する報道記事

- * 「辺野古に軍港機能 アセスに記載せず」（『琉球新報』2013年12月21日）
- * 「辺野古に軍港機能付与 日本政府、09年把握」（『琉球新報』2014年9月12日）
- * 「社説 揚陸艦接岸基準 あまりに不誠実ではないか」（『琉球新報』2015年3月3日）
- * 「米軍公開文書 揚陸艦接岸基準と一致 辺野古 巨大軍港化裏付け」（『しんぶん赤旗』2015年3月5日）
- * 「沖縄・辺野古新基地 移設どころか最新巨大基地化」（『しんぶん赤旗』2015年3月5日）
- * 「辺野古 こっそり軍港化？ 揚陸艦接岸へ計画変更か 米資料で護岸サイズ一致判明」（『東京新聞』2015年3月21日）

（注7） 沖縄における米軍基地構想に関する報道番組・記事

- * 「そもそも沖縄の普天間基地を『国外へ』というのはいかなる話なんだろうか？」（「そもそも総研」『テレビ朝日』2014年3月27日）
- * 「米軍中部訓練場上空の高度を拡大 基地運用計画に明記」（『琉球新報』2014年7月17日）
- * 「伊江で F35 訓練計画 米国防総省」（『沖縄タイムス』2014年12月18日）
- * 「米、提供前の高江直陸帯使用認める」（『沖縄タイムス』2015年1月24日）
- * 「高江へり着陸帯2カ所、先行提供で日米合意 集落近いN4地区」（『琉球新報』2015年1月31日）
- * 「社説 着陸帯先行提供 恥ずべき対米従属だ」（『琉球新報』2015年2月19日）
- * 「オスプレイが新着陸帯で初訓練 東村高江」（『琉球新報』2015年2月26日）
- * 「辺野古移設の裏で・・・米軍強化の巨大構想に迫る」（『報道ステーション』2015年3月17日）
- * 「伊江村議会 F35 戦闘機訓練抗議決議と意見書可決」（『琉球朝日放送』2015年3月20日）